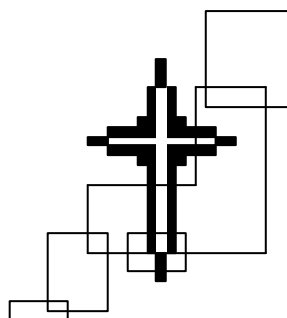


# 日本のための とりなし



わが国のために祈りましょう

ニュースレター10月号

2004年10月17日発行

日本のためのとりなしの会

事務局：〒228-0802

相模原市上鶴間 6-1-17 皆川方

TEL042-747-5703

FAX042-746-2119

<http://www.Christ-ch.or.jp/>

\*振替：00270-7-6421

委員長：皆川 尚一(神奈川県)

委員：友納 徳治(福岡県)

林田 金弥(神奈川県)

釘宮 義人(大分県)

高田和彦(東京都)

町田 誠(千葉県)

中原 耕平(千葉県)

## 日本宣教論序説 (第13回)

### 第二部 キリスト教の土着化

#### 第二章 秦氏のキリスト教の土着化(続)

皆川 尚一

(5) 秦氏は神社を通じて土着化を企てた  
なぜ神社なのか

秦氏が日本に渡来した西暦紀元第2世紀よりも遙かな昔から日本には神社がありました。そして神社は氏神(うじがみ)とか、鎮守神(ちんじゅのかみ)とか、産土神(うぶすなのかみ)とか呼ばれて、それぞれの地域に住む人々の守護神として崇められていたのです。

元来、氏神とは、その土地に入植した一族(氏)の大元祖(氏の祖先)のことを言います。例えば、春日大社(かすがたいしゃ)は、祖神として天児屋命(あめのこやねのみこと)を祀る藤原氏の氏神です。その分社である春日神社は全国に散在しています。

又、源氏の氏神は八幡宮(はちまんぐう)で、応神天皇を祖神として、宇佐八幡宮(大分県)、石清水八幡宮(京都府)、鶴岡八幡宮(神奈川県)ほか、分社である八幡神社は全国に約12万社あると言われます。

次に鎮守神(ちんじゅのかみ)とは、支那の周代において小都市を鎮(ちん)と呼んだ

ことから、日本では城、寺院、小村落の守護神を鎮守(ちんじゅ)と呼ぶようになりました。そして、新しい土地の開拓に入植した人々が「開拓の守護神」として、氏神や由緒(ゆいしょ)のある神を鎮守神に祀ったので、産土神(うぶすなのかみ)との間に混乱が起きました。

では、産土神(うぶすなのかみ)とは何かとといいますと、別名を「地主神(とこぬしのかみ)」とも呼び、昔からその土地に鎮(しず)まっている神を言います。ですから、ある場合には「山神」であり、ある場合には「水神」であり、また「火神」でありました。そうした土地の宗主を「産土(うぶすな)」と呼びます。そればかりではありません。産土神の総元締は出雲の大国主命(おおくにぬしのみこと)であって、全ての産土神と全ての祖霊を支配し、守護している神だとされています。従って日本全国の総産土神社が出雲大社であって、全国に618の代官神社を置いて、日本の幽冥界を司っているとされています。毎年10月には618の代官神社の神々が出雲に集まって見えない世界の事柄について相談するというので、出雲では、「神在月(かみありづき)」と呼び、それ以外の地域では10月は「神無月(かんなづき)」と言います。これは日本全土の神社の神々がみな出雲に集まって空っぽになるという意味ではありません。

ん。多くの方がそう誤解していますが、出雲大社の神々だけです。

この他には「天照大神」を祀る伊勢神宮が特別に尊ばれています。天照大神は国家神として、日本の大多数の神社でそれぞれの固有の祭神の中心に置かれています。また、各戸の神棚の中心に置かれるのが常です。

即ち、古来日本人の生活は、その土地の守護神である鎮守の神を中心として営まれて来ました。その守護神には上記の複数の神々が祀られており、住民はその神の氏子（うじこ）として、神から発せられる光によって護られているので、神社に参詣して感謝をささげ、ご利益を授かることを祈願するのです。神社を中心に氏子総代を頭とする氏子組織が作られ、夏祭り、秋祭り、そして住民の冠婚葬祭に、それぞれが役割を分担して奉仕します。祭礼に際しては、各家の神棚に祀る祭神の名を記した御札（おふだ）を各戸に配り、神社への寄付を集めます。それゆえ、その土地で暮らして行くためには、御札をもらって氏子組織の中に加わり、地域共同体の一員としての責任を果たす必要があります。従って、神社を中心とした信仰生活というのは、個人主義ではなく、家族ぐるみの地域共同生活であり、これを全国的、歴史的に見れば、日本民族は氏の長である天皇とその祖先の神々へと連なり、究極的には造物主たる天御中主神と連なるのです。

この様に見てくれば、秦氏が「神社」を天地創造の神の礼拝堂として選び、キリスト教の土着化を企てた理由が明らかに理解できるでしょう。

#### わたしの神社経験（横須賀市）

ここで私の神社経験を2例ご紹介したいと思います。一つは、神奈川県横須賀市大津で、その部落に諏訪神社がありました。父の死後、甲府市から母の郷里の横須賀市に来て育てられた私は、幼い頃から神社に馴染んでいました。祭礼の時の「ピーヒャラ、ピーヒャラ、ドン、ドン、ドン」という笛や太鼓のはやしは今でも懐かしく耳に残っています。中学1年から3年までの夏休みには誰かに言われた

わけでもなく自分から進んで朝早く起き、竹箒（たけぼうき）をかついで自宅から10分ほどの距離にある諏訪神社に走って行き、境内（けいだい）を清掃して、また走って帰るという毎日を過ごしました。しかし、1940年12月のクリスマスに15歳でバプテスマを受けてクリスチャンになった私は、偶像礼拝は一切しないと心に決めて、神社への拝礼も清掃もピツたりやめました。姉も二人の兄たちも既にクリスチャンになっていましたが、母だけはなぜか受洗しませんでした。それでも祭礼の時に町内の役員が神社の御札を持ってくると「うちはキリスト教だから要りません」と拒んで寄付もしませんでした。すると神輿（みこし）の行列が「ワッショイ ワッショイ」と通りを練り歩くときに「ここだ、この家だ、それっ！」掛け声がして、「ワッショイ ワッショイ」ドーンと神輿の棒を私の家の板塀にぶつけるのです。板塀が「メリ、メリ、メリッ」と裂けると「ワーイ」と奇声をあげて、また「ワッショイ ワッショイ」と通り過ぎて行きます。

#### 私の神社経験（下関市）

今一つは、本州西端の山口県下関市彦島には彦島八幡宮がありました。1953年4月に東京の神学校を卒業した私は日本キリスト教団下関彦島教会の牧師として赴任しました。その夏、K長老の奥さんに案内されて、八幡宮の祭礼を見物しに行きました。彦島江ノ浦町の目抜き通りを埋めた群衆の間をぬって、向こうから高さ10メートル以上の山車（だし）がしずしずと近づいて来ます。山のように沢山の提灯（ちょうちん）で飾り立てられた山車の最上階には、はやし方が乗っていて、「ピーヒャラ、ピーヒャラ、ドンドン、ペン、ベンベン」と笛、太鼓、三味線などの盛んなおはやしが聞こえて来ます。最上階の先頭には祭礼の浴衣（ゆかた）を着たひとりの若い衆（わかいしゅ）が立っていて、精一杯の美声を張り上げて歌を歌っています。良く透る声で、その昔、壇ノ浦で行われた源氏と平家の舟合戦の物語を歌うのです。「いいもんだなあ」なんて思いながら見ているとK夫人が

「先生、先生、見て御覧なさい。あの人、あの人」と頓狂(とんきょう)な声をあげて、山車の上で歌う若者を指さします。「えーっ、なんで、あの人か!」とわたしは絶句してしまいました。その人は彦島生まれで、彦島育ちの救世軍の士官で、横浜小隊の小隊長先生でした。教会で言えば牧師です。「休暇で郷里に帰って来ました」と挨拶に来られたので、日曜日の夕礼拝で説教してもらいました。その偶像礼拝を排撃する救世軍の士官が八幡宮の祭礼の山車の上で大いに氣勢をあげているとは...。「先生、痛快ですねえ」と長老夫人は大満足。

それから4年後、私は結婚して二人の子を恵まれ、彦島の別の地区に転居していました。夏祭の季節が来ると町内の役員が八幡宮の御札を配り、寄付を集めに家々を巡ります。私の家に役員が来たとき、「うちはキリスト教なので御札は要りません」と、断りました。すると、その人は「あなたがたは他所から来た人だから仕方がない。しかし、お子さんたちは彦島で生まれたのだから、彦島八幡の氏子です。責任を果たして下さい」と言って、寄付を求めるのです。そう言われてみて、初めて考え方の違いが分かりました。私たちクリスチャンは外来宗教としてのキリスト教を信じて、日本の伝統的な宗教である神道や仏教を偶像礼拝として排撃する立場をとっていました。いわゆる対決型のキリスト教を外国宣教師から受け継いでいたから少数派です。まず、福音を信じて個人がクリスチャンになる。誰が何と言っても私だけは絶対にキリストを信じる。一生涯信じ抜く。「死に至るまで忠実なれ」、「千万人といえども、われ行かん」が明治以来140年間のクリスチャンのモットーです。それからクリスチャン・ホームを造る。これが次の目標です。地域社会の中では少数派ですから、まず個人が団結してキリスト教会を形成し、それを拠点としてクリスチャン・ホームを造り、それを拡大して地域社会に浸透して行くことを目指すわけです。これがなかなか難しい。「あなたのお子さんは彦島で生まれたのだから、彦島八幡宮

の氏子です」といわれて、感心してばかりもいられません。「いいえ、私たちは主イエス・キリストによって子供を授かったのだから、どこで生まれようと土地に関係なくイエス様のものです。だから八幡様の氏子ではありません」と断りました。

### S兄弟の受難

私は下関彦島から引き上げて、1959年から神奈川県相模原市の開拓伝道に取り組みました。私の住む相模原市東部の上鶴間地域は国道16号線をはさんで東側が農村地帯、西側が新興住宅地帯です。農村地帯には鹿島神社と日蓮宗の寺があり、住民たちは神社と寺を中心に地域生活共同体を形成しています。神社は氏子総代を頭とする氏子組織、寺は檀家(だんか)総代を頭とする檀家組織ができていて、祭礼や冠婚葬祭の役割がみな定まっていました。西側に住んでいる私たちには自由があつて、伝道して行くと色々な人がどんどん集まって来ます。しかし、東側の農村地帯ではいくら個別訪問伝道しても、ビラ配りをして、人々は出て来ませんでした。しかし、その地域に隣接の町田市の教会に属する熱心なS兄弟が住んでいることが分かりました。私とS兄弟とは平和運動を通じて知り合い、相模キリスト者平和の会を作って原水爆禁止その他の活動を展開しました。その交わりを通じて分かったのは、S兄弟のお父さんが神社の氏子総代兼寺の檀家総代だという事でした。そしてS兄弟は長男であり、父親の後継息子として期待されていた人でした。彼がクリスチャンになったことはお父さんを激怒させ、たちまち彼は家から追放されて奥さんと2人の子供さんとの4人家族は農協の倉庫の片隅にある小屋で生活するようになりました。農協の仕事をさせてもらいながら細々とした暮らしでしたが、将来はこの農村地帯に沢山のクリスチャンが生まれることを夢見て、まず、自分のクリスチャン・ホームをしっかりと築いて行くんだと言っていました。その後20年くらい経って、彼は相模大野農協共同組合の課長に昇進していましたが、私に言いました「先生、やっぱり農村伝道は容易じゃありません。

私は自分一代ではダメだから、子の代、孫の代に期待をかけて行きたいと思います」と。

上記のような経験談を通じて分かることは、神社を通じて土着化を企てた秦氏のキリスト教は、今日の外来宗教としての対決型キリスト教となかなか結びつくことが難しいという

事です。その原因はどこにあるのかを探るために、次回では、秦氏が最初に造った八幡宮といわれる九州・大分市の宇佐八幡宮の成立と変化の経過を取り上げてみたいと思います。

以上

## 地域別とりなし祈禱会

### 1. 北海道

札幌市 : キリスト公会 札幌グレイス教会 皆川尚一牧師  
〒001-0032  
札幌市北区北 32 条西 5-3-27  
TEL 011-717-1801

### 2. 岩手県

水沢市 : ザ・リバイバル・東北祈りの家 高橋範明  
〒023-0813 水沢市中町 26 レストラン・プレイズ  
TEL 0134-62-3561 毎月第3日曜日 午前7時00分

### 3. 埼玉県

蕨市 : 蕨とりなし祈禱会 鷺谷世嗣兄  
〒335-0003 蕨市南町 3-3-12  
TEL0484-42-0967 毎月祝祭日午後2時

### 4. 東京都

東京都内 : 東京中央とりなし祈禱会 皆川尚一牧師  
\* 会場 早稲田奉仕園セミナーハウス(東京都新宿区西早稲田 2-3-1)  
\* 連絡先 〒228-0802 神奈川県相模原市上鶴間 6-1-17 皆川尚一牧師  
TEL042-747-5703、FAX042-746-2119 毎月第4月曜日午後6時30分~9時

東京祈禱会 山浦もと姉  
\* 会場 キリスト教婦人矯風会館B - 1(新宿区百人町 2-23-5)  
\* 連絡先 〒350-0812 埼玉県川越市下小坂 612 主の園 3-25 山浦もと姉  
TEL0492-34-7049,FAX0429-31-5552 毎月第1月曜日午後1時30分

### 5. 神奈川県

相模原市 : キリスト公会相模大野教会 皆川尚一牧師  
〒228-0802 相模原市上鶴間 6-1-17  
TEL 042-747-5726,747-5703 FAX 746-2119  
URL <http://www.Christ-ch.or.jp/>  
毎月第2木曜日午前10時15分

### 6. 長野県

小県郡 : 丸子町キリスト教会 松吉理枝子牧師

〒386-0404 長野県小県郡丸子町上丸子川原 1710 - 1  
TEL 02684-2-5264 毎週水曜日午後 7 時 30 分

#### 7. 静岡県

静岡市 : リビングウエイ・チャーチ リッキー・ゴードン師  
〒420-0841 静岡市上足洗 4 丁目 6-16-7  
TEL 054-248-4058 毎月第 1 日曜日午後 2 時

#### 8. 京都府

京都市 : キョート・プレイヤーグループ シスター・ローズマリー・バス  
〒604-8006 京都市中京区河原町三条上ル カトリック会館 3F  
TEL 075-781-3330 毎週火曜日午後 7 時 英語の祈祷会

#### 9. 兵庫県

高砂市 : 日本キリスト教団 高砂教会 手束正昭牧師  
〒676-0015 高砂市荒井町紙町 1-34  
TEL 0794-42-4854 FAX 42-4878 毎月第 4 水曜日午後 9 時 30 分 ~ 12 時

#### 10. 福岡県

福岡市内 : 伊都キリスト教会 友納徳治牧師  
〒819-0167 福岡市西区今宿井尻 12-4-1  
TEL 092-807-9080、FAX 807-2298 毎月第 3 水曜日 7 時 30 分

#### 11. 大分県

別府市 : フルゴスペル イエスキリスト教会 永野誠治牧師  
〒874-0933 別府市野口元町 10-1  
TEL & FAX 0977-26-3692  
e-mail:fg.jesus@poppy.ocn.ne.jp  
毎週金曜日午後 7 時 30 分



## 2004年10月号祈りの焦点

### (1)継続的課題

1)公明党が連立政権から外され、政界におけるその勢力が著しく減退するように。

又、自民党が見識を取り戻して創価学会に頼らなくなるように祈りましょう。

〔解説〕

\* 週刊新潮 9月23日号には、アメリカ屈指の経済誌「フォーブス」9月6日号（発行部数100万部）に掲載された創価学会についての特集記事の紹介が行われています。フォーブス誌の5頁に及ぶ記事のタイトルは「先生の世界」(Sensei's World)です。「先生」という単語は池田大作・創価学会インターナショナル（略号 SGI）会長を指しています。以下、引用文の一部を記します：「この会は44年間にわたって、熱心な宗教家の一面を見せながらも、執拗に自己の権力の拡大に努めた池田大作に率いられてきた。「池田の目的は何か？ 創価学会の統率権を獲得した5年後、池田は日本のライターに、『私は日本の国主であり、大統領であり、精神界の王者であり、思想文化一切の指導者・最高権力者である』と述べている」。更に、この記事の執筆者ベンジャミン・フルフォード氏の話として、「この記事で訴えたかったのは、何をやっているかよく分からないこの組織が巨額の金と巨大な権力を動かしているという事実です。それから、世界平和や民主主義を謳いながら、その一方で創価学会という組織の中は民主主義など全くない。トップダウンで、全員が池田会長のマリオネットのような発言ばかりしていますよね」という談話を紹介しています。

2)カルト集団からの脱会者がキリスト教会に来て救われるように。

〔解説〕

\* 「レムナント」（久保有政主筆）誌は、8月号から11月号まで4回にわたって「聖書に基づいてエホバの証人と論ずる」というレポートを記載しています。

3)天皇陛下が主イエス・キリストに在って救われ、大いに祝福され、その祝福が遍く日本国民の上に及びますように。また、天皇陛下が世界の諸国民の中にあって、祝福の基として用いられますように。そして、国民が天皇陛下を先達として理解し、尊敬して、国際平和のためにつくすように祈りましょう。

〔解説〕

\* ヘブライ大学のベン・アミ・シロニー教授は、その著「母なる天皇」の中で次のように述べています。

「天照大神の神聖なる子孫と、神道を異教と見るキリスト教との間に理論的には何のつながりもありえなかったはずである。しかし、実際には、明治の指導者たちも天皇も進んだ西欧の宗教としてのキリスト教を尊敬したし、日本人クリスチャンたちもみずからの愛国心を立証しようと天皇に対する愛着を披瀝した」（p.263）。当時の東京の本郷教会牧師で、後にプロテスタント系の同志社大学の総長となる海老名弾正は、キリスト教の説教の中に教育勅語をとりいれるようにすすめた。天皇の神格に対するクリスチャンとしての擁護論（ようごろん）を提供したのである。海老名は述べている「クリスチャンたちは...自己の信条を踏みつけにすることなしに、日本国民は神的な起源を有することを認めてよい。皇祖のかたがたが神との親しき交わりの中にあられたことを認識してはじめて、我々は我々の生きているのがいかに神聖な国であるかを理解するのである」（p.265）。

4)互いに批判し合い、反目し合ってきたキリスト教会とユダヤ人、カトリック、プロテスタン

ト、そしてペンテコステ、および各教派・各教会の間に、悔い改めと和解が起るように。

〔解説〕

\* 「インサイド・イスラエル・ニュース」(AMI エルサレム・センター)2004年6月号によれば、「イスラエルの友人は主にアメリカの福音主義クリスチャンで、彼らはユダヤ人国家のために莫大な資金を提供している」との見解がある。これに対して著名なラビは「クリスチャンの援助はユダヤ人の利益優先よりも、改宗させることが第一である」と反論している。もう一つ懸念されることは、福音派原理主義クリスチャンの傾向として、「パレスチナ人のいかなる妥協にも反対である」との立場である。それは当事者であるイスラエルとパレスチナの平和を遅らせる深刻な要素となる。

5)キリスト教の視聴覚伝道が進展するように祈りましょう。

〔解説〕

\* 明治、大正時代延べ3000人の孤児を引き取り、養い育てたキリスト者石井十次。

松平健さん扮する十次の生涯を描いた映画：

「石井のおとうさんありがとう 岡山孤児院 - 石井十次の生涯」(山田火砂子監督)が現在全国で公開中です。映画の中で十次の娘、友子を演じるのは須貝真己子(すがい まいこ)さんです。須貝さんはフォースクエア・村山福音教会員です。この映画が福音の進展に大きく用いられるように祈りましょう。(クリスチャン新聞2004年9月12日号 p.16 参照)

6)TV・ラジオ・新聞・雑誌関係者たちがおごりと偏った報道や人権無視の取材を止め、神を畏れたフェアな在り方をするように。これらに気付いた人が抗議や訂正の声をあげ、日本の見張り人の役を果たすように祈りましょう。

〔解説〕

\* 9月25日発行の国民新聞は、「中国の侵犯盗掘報道せぬNHK」と題して次の記事を載せています。

《中村粲(あきら)獨協大学教授の「NHK ウオッチング」(「正論」誌)は、NHKの公共性を損なう反日・反国益報道を糾弾する連載物だが、同9月号ではNHKは中国が尖閣諸島周辺での侵犯や東シナ海での海底資源発掘について全く報道していないと指摘している。中村教授は「NHKは我が国の貴重な海底資源に対する中国の略奪行為を何故ニュースや特番で報じて世論喚起に努めないのか」と怒る。NHKは、予ねてより中国べったりの報道を繰り返しているが、中国の国家機関で共産党支配下の国営中央テレビ(CCTV)との合併会社を作っているのだから無理もないのか。中村教授ならずとも「こんな放送局に受信料など払いたくなくなるのは当然」だ。》

\* 9月30日のサンケイ新聞はトップ記事で「ガス田開発シェル撤退」を次の通り報じています。

《中国が日本政府の抗議を無視する形で進めている東シナ海のガス田採掘事業で、中国と共同出資して開発に参加している国際石油資本のロイヤル・ダッチ・シェルグループと米ユノカルが「商業上の理由」で撤退を決めたことが29日分かった。中国側は日中中間線付近の「春曉鉦区」を予定どおり来年中ごろに操業するとの姿勢を崩していないが、国際的な後ろ盾を失ったことで大幅な遅れも余儀なくされるのは必至。日本政府筋は「事業見直しも含め、中国側のダメージは大きいのでは」と分析している。》

\* 上記の「国民新聞」(編集・発行人 山田恵久(しげひさ)「国民新聞社」東京都新宿区西新宿4-32-4-1105 電話03-3311-1001、ファックス03-3313-9800、振替00120-9-549016)は購読者数の減少により経営難に陥っています。現代の日本では珍しい保守的な色彩の強い全



国紙で一般商業新聞からは得られない情報源として貴重な新聞です。これが廃刊とならないように祈ると同時に皆様の新規購読申し込みをおすすめします。」(年間購読料は送料・税込み1万円です)

7)日本に亡国の危機をもたらす少子化傾向がくいとめられ、神の御心にかなった増子化対策が社会全体の祝福によって実施されるように祈りましょう。

「神は彼らを祝福して言われた、《生めよ、ふえよ、地に満ちよ、地を従わせよ》」(創世記 1:28)。

〔解説〕

- \* 増子化対策における政府の対応は、すでに結婚して家族を持ち、子供を生む人々への様々の援助に限られているようです。児童手当を小学3年生まで延長したことなど評価できる点は少なくありません。
- \* しかし、それ以上に重要なことは若者たちに結婚できるための必要条件が満たされることでしょう。多くの若者がフリーターとして、パートタイムで低賃金で長時間働かされています。それにサービス残業という名の「ただ働き」が加わり、まさに奴隷制度に等しい有様です。これでは、結婚することも、子供を育てることも困難です。若者たちのインスタント食品も体力低下の原因です。

(2)時宜的(タイムリーな)課題

1)小泉内閣が神を畏れ、国民の意向を無視した独裁的な政権運営を改め、日本の独立と国際平和に役立つ政治を行うように祈りましょう。

〔解説〕

- \* 小泉内閣は、郵政民営化を強力に推進し、国民の教育を地方自治体に大幅に権限委譲し、市区町村合併による歴史的地名の変更を無造作に進め、米軍基地を日本の本土に拡大強化し、アメリカのイラク攻撃の理由とされた「大量破壊兵器がイラクに備蓄されており開発計画が進められている」という事実が全く無かったことが10月6日米イラクグループ(ISG)から発表されたにもかかわらず、日本がアメリカに協力して同じ理由の下に参戦した責任についてノー・コメントである等、すべて国民の意向を無視した独裁的なやり方で政策を進めています。
- \* 10月12日から12月3日まで開催されている臨時国会で政府に対する責任追及が行われるように。
- \* 郵政民営化が小泉政権の命取りとなって、衆議院解散、総選挙が行われるように。

2)日本国民全体の中にキリストの福音が広く深く受け入れられて行くように祈りましょう。

〔解説〕

- \* 日本キリスト教団高砂教会の手束正昭牧師は、教会月報2004年7月号で概略次のように日本宣教の希望を述べています。《秦氏の浸透型キリスト教は、神道や仏教にのみこまれ埋没してしまい、今では全くその影響を失ってしまったかに見える。しかし、実はそうではなく日本人の中に聖書の倫理や聖書的な考え方が深く入っていて奥底に流れており、日本は表面は神道国、仏教国に見えるが内実的にはキリスト教の国とも言える。「名を捨てて実をとる」秦氏の宣教戦略は、実は大成功を収めているのかもしれない。私たち日本人は、確かに表面的にはキリストを信じていないし、キリスト教国ではないが、実質的にはキリスト教の倫理、ものの考え方が脈々と生きていく国である。この事実を喜び感謝しよう。そして、私たちキリスト教会は日本人の中に既に流れているキリスト教の血とも言うべきものに触れる形で伝道を展開していきたい。そこに日本民族の救いが大きく開かれていくのではないだろうか。

潜在的クリスチャンである日本人が顕在的クリスチャンに変えられて行くことを願ってやまない。》

3) 北朝鮮による拉致問題の解決があくまでも外交上の最優先課題とされ、拉致被害者の家族が日本に帰って来るように。又、北朝鮮の核準備が取り除かれるように。

〔解説〕

- \* 小泉首相は北朝鮮拉致被害者の帰国について、日本側の強い姿勢をつらぬくのに功績のあった中山恭子内閣官房参与を辞任に追い込み、代わりに山崎拓氏を首相補佐官に任命して、日朝国交正常化を加速させる姿勢を打ち出しました。
- \* 一方、米国下院本会議は10月4日北朝鮮人権法案修正案を全会一致で可決しました。この法案は、日本人拉致問題の解決など北朝鮮の人権状況が改善されないかぎり、人道支援以外の米国からの援助を禁止し、人権問題を北朝鮮と協議する大統領特使の新設を定めています。また、この法案はブッシュ大統領の署名を経て法律となります。
- \* 日本政府が経済援助の停止を含む強い姿勢で拉致問題解決を優先させるように祈りましょう。

4) 日本における教育が健全な方向に導かれるように。

〔解説〕

- \* 東京都は男女混合名簿を廃止しました。この影響が全国に波及することが望ましいと思われまます。いわゆるジェンダー・フリー（性差別をなくす）の新左翼思想が日本社会から駆逐されて男女の性的な違いが認められつつ相互の人格を尊重して助け合う社会が生まれるように祈って行きましょう。
- \* 中学校・学習指導要領の中に「総合的な学習の時間の取り扱い」という項目があります(p.3-4)。その狙いは、例えば、「自らの課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てること」とあります。そのために教師は国際理解、情報、環境、福祉、健康などの課題について指導を行うのですが、能力のある教師にとっては週2時間の学習時間が活用できますけれども、能力の乏しい人には暇つぶしの自主勉強の時間になっているのが現状です。教師の能力向上、又、能力ある教師の新規登用が望まれます。

5) 日本に良い家族制度が回復されるように祈りましょう。

〔解説〕

- \* 聖書に基づく良い家族制度は、夫権、及び父権を家族の柱として明確にしていることです。この柱に支えられて、妻の権利、子の権利も認められているのです。権利と同時に、義務も明確です。夫や父には家族を愛し、保護し、養う義務があり、妻や母には夫を助けて夫の任務をまっとうさせ、夫と共に家族を世話する義務があります。夫唱婦隨。子が父を敬愛して、両親の教に従順であること。これらは「神道」「儒教」においても美德です。

6) 日本の経済が上向くように。又、米資本に邦銀や郵便事業を売り渡す小泉・竹中政権の野心が打ち砕かれるように祈りましょう。

〔解説〕

増田俊男の時事直言！

272号 (2004年10月12日号)

MASUDA ページ : <http://masuda.luvnet.com>

郵政民営化は必要か？

郵政民営化や道路公団民営化問題について、私は公共事業と民営事業のすみ分けが必要だと言ってきた。民間事業は法（株式会社法など）で「利益を追及することを目的とする」と規定されている。「損が出ることが明らかな事業」を行えば株主訴訟（背任）の対象になる。だから国民生活に必要な不可欠でありながらどうしても利益が出ない事業は、公共事業として行うことになっている。

また、利益がでる事業でも国民が民間に任せられない事業がある。プライバシー（基本的人権）の保証を要する親書や、証拠能力を必要とする証明郵便（内容証明等）などの事業は利益団体（民間）には資格がない。

反面、郵便事業のドル箱になっているダイレクトメールなどは民間に移行すべきである。

### どうしても国民が民に任せられないものがある

国民は「お金」なしには生活ができないから、お金は国民の最も重要な財産である。国民のお金に対する認識は基本的には二通りである。リスク覚悟の投資である「預金」と全くリスクがあってはならない「貯金」である。預金は投資だから自己責任だが、貯金は本来「貯金箱」と同じで、リスクなく安全に保管されねばならない国民の安全財産である。リスク覚悟の預金は民間に任せてもいいが、国民の安全財産は潰れる可能性のある民間（株式会社等）に一任するわけにはいかない。

国民が働いて得たお金が貯金として安全に所有、保管されることは憲法で保証（国民財産の保全・保証）された国民の権利である。だから潰れることがなく、国民自らの税金で支えている国家（公的機関＝現在は郵便局）に国民の貯金箱の役割をさせている現在の制度は正しい。

郵便配達事業も利益を追求する民間には無理である。利益ベースで郵便配達事業を行えば、過疎地などのサービスはできなくなり国民生活に必要な郵便サービスに支障を来たすばかりか、民間が損の出ることを承知で郵便サービスを行えば犯罪（背任）になる。仮に国民の郵貯と簡保事業を危険にさらしてまで民営化したとしても、350兆円なる巨額資金は日本の金融市場では機能しないばかりか、せっかく不良債権処理で再生しつつある金融界を圧迫する。郵貯・簡保の350兆円は日本の経済規模と金融機関の理想の規模と形態からあまりにも逸脱している。

やはり国民の安全財産（郵貯・簡保）は「リスクの海」である「市場」に投下せず、決して潰れることのない国家機関が保管し運営するのが正しい。

### 間違いは正せばいい

今までの郵貯、簡保資金の問題多き運用（財政投融资）を理由に、公共事業（郵貯、簡保）の必然性、必要性、更には憲法が定めた国家の国民に対する財産保全義務を否定するのは間違いである。

「財投の運営・運用に間違いがあるなら運用機関を正せばいい」。

過去の不用意かつ無責任な財投運用のつけを恐れるがあまり、国民に対して何でも民営化という本末転倒の罪を犯してはならない。「民でできることは民で…」のキャ

ッチフレーズと詭弁で国民の安全財産をリスク財産に誘導しようとするのが「小泉郵政民営化内閣」！しかし、郵政民営化に関心を持つ国民はたったの3%。郵政民営化を指折り数えて待っているのは日本を政治、経済植民地化しているアメリカ合衆国だ！

「日米投資イニシアティブ・2003」で小泉さんがブッシュに約束した金融関連法整備（約74件）のおかげで、郵貯・簡保の民営化と同時にアメリカは「合法的に」日本の国民安全財産（郵貯・簡保）を持ち去ることになる。「郵政民営化の真の抵抗勢力は国民」である。

小泉さん、あなたはアメリカのために「日本国民をぶっ潰すおつもりですか？」。  
「自民党をぶっ潰す」では大人気だったが.....

## 7)外国人地方参政権付与法案が否決されるように祈りましょう。

〔解説〕

- \*先ごろ韓国を訪問した安部晋三（自民）、冬柴鐵三（公明）の両幹事長は、9月1日盧武鉉（ノムヒョン）大統領と会談しました。その時、同大統領は「過去の問題や在日韓国人の処遇の問題は、具体的な対応や考え方が未来を建設する上で障害になるか、貢献するかを見ることが大切だ」と述べ、小泉首相の靖国神社参拝や永住外国人への地方参政権付与などを巡り日本の内政に執拗に干渉してきました（国民新聞9月25日号の記事より）。
- \*現在、韓国では盧武鉉政権下で親北朝鮮・左傾化が進み、保守系の朝鮮日報や東亜日報以外の新聞社、テレビ局全てが親北朝鮮派です。8月14日に韓国国営放送KBSのテレビ番組では、北朝鮮の代表的革命歌である「赤旗歌」が堂々と流され世論の批判が起こりました（国民新聞9月25日号の記事より）
- \*こうした情勢の中で、公明党は在日北朝鮮人に韓国籍を取らせて、在日韓国人として、地方参政権を与えて支持票を増やそうとしているのです。

## 8)イスラエルの平和のために祈りましょう。

「見よ、イスラエルを守る者は、まどろむこともなく、眠ることもない」（詩篇121:4）

〔解説〕

- \*「インサイド・イスラエル・ニュース」（AMIエルサレム・センター発行）2004年10月号は以下のことを報じています。
  - （1）イスラエル人とパレスチナ人の協力
 交戦に巻き込まれたパレスチナ人の子供がイスラエル軍により傷つけられたり、殺されたりした場合、その報道はあらゆるメディアのトップに上げられる。しかし、イスラエル人とパレスチナ人の小児科医師が協力して、状態の悪いパレスチナ人の子供数百人を治療しても、それは記事にされない。
 

プレス・ピース・センターの後援で、現在200人以上のパレスチナ人の子供たちが無料治療を受け、400人以上の子供たちが無料診療を受けた。この計画は「子供たちを救え」と名付けられ、ベツレヘムで癌に苦しむ子供の有様取材したイタリア人ジャーナリストの報道が発端となった。全く医療を受けられない子供のドキュメンタリー番組は、イタリア人有力者の心を打ち、イタリア当局は行動に移した。

イタリアは始め子供たちを自国で治療に当たるための基金を設立した。しかし同額の基金でイスラエルで治療すれば、より多くの子供たちを治療できることが判明した。

現在「子供たちを救え」計画に四つのイスラエル病院が参加している。しかし病院側は保険治療分を負担するとの条件が課せられ、他の必要経費はイタリア基金の支払いとなっている。

---

これはイスラエル・パレスチナの非政府間協力の成功例として挙げられる。このような行動が更に進めば、この地域の政治問題を克服する良い手がかりとなろう。

(2) 最近の人口調査に依れば、全世界のユダヤ人人口は 1,300 万人、イスラエル・ユダヤ人は 520 万人と報告された。イスラエル人口の 86% がユダヤ人。イスラエル・アラブ人の人口増加率は 19%。ユダヤ人の人口増加率は 3%。ユダヤ人の平均年齢は 30.4 歳で、アラブ人は 19.7 歳。人口増加率と平均年齢は、ユダヤ人の未来に不安をもたらす要因となろう。

---

\* 《会計報告》(2004年6月1日～2004年7月31日)

(単位 = 円)

収 入	金 額	支 出	金 額
献 金	111,000	交 通 費 印 刷 費 資 料 費 郵 送 費 事 務 費 振替手数料 電 話 料 会 場 費	930 2,950 34,500 24,730 0 520 14,840 12,547
小 計	111,000	小 計	91,017
前月繰越	72,909	翌月繰越	92,892
国内活動基金 収入	0	国内活動基金 支出	0
前月繰越金	15,700	翌月繰越金	15,700
国際会議参加基金 収入	0	国際会議参加基金 支出	0
前月繰越金	35,474	翌月繰越金	35,474
合 計	235,083	合 計	235,083

## 【献金者芳名】(順不同)

キリストの福音大分教会(大分)	1回	東京中央とりなし祈禱会席上献金	2回
相模大野教会(神奈川)	2回	人見祥子(神奈川)	1回
札幌グレイス教会(北海道)	2回	杉森猛夫(熊本)	1回
佐藤節代(神奈川)	1回	安部也笑子(東京)	1回
林 実(栃木)	1回	匿名(栃木)	1回
吉田久子(神奈川)	1回		

## 【編集後記】

\*2004年10月号のニュースレターをお送りします。今回は9月に集会が集中して多忙になったため、発行が2週間遅れたことをお詫びします。

\*今回のレポートでは、秦氏がなぜ神社をキリスト教の礼拝堂として選んだのか? 地域生活共同体の中に信仰を土着化させる知恵を学びたいと思って、この謎にとりくみました。

\*次回は、秦氏が創建した神社の中で一番多い、全国で12万社はあると言われている八幡神社の最初であり総元締である宇佐八幡宮を取り上げる予定です。

\*インターネットに自殺サイトが生まれそれを通じて、見知らぬ自殺願望者が集まって、車の中に練炭(れんたん)を燃やし、一酸化炭素中毒で自殺するというこれまでにない現象が起こっています。

\*生きる希望をイエス・キリスト様に見出せるように、祈りつつ人々の心に働きかけて行きたいと思います。

(ヨハネ 皆川尚一記)

## 《次回日本のとりなし委員会予告》

日時:2004年10月18日(月)12時

場所:キリスト公会 相模大野教会

